

岡山県の造林に適した早生樹種の選抜

【背景・目的】

岡山県内のスギやヒノキの人工林の多くは、伐採する年齢に達しており、伐採後には計画的な再造林が重要です。一方、県内では木質バイオマス発電所が複数稼働しており、燃料となる木質資源の安定的供給も必要です。そこで、スギやヒノキよりも成長が早く、造林に適した樹種を選抜するための研究をしています。

【成果の内容】

①スギ・ヒノキに比べて成長は早いのか？

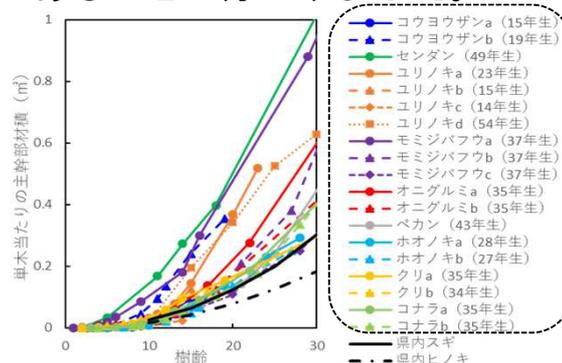
スギやヒノキに比べて、どのくらい早く成長するのかを知るために、9樹種の成木を伐り倒し、樹幹解析という方法で成長の特性を調べました。その結果、モミジバフウ、ユリノキ、センダンなどは成長が旺盛で、有望であることが分かりました。



成木の伐倒



樹幹解析（年輪幅の測定）



②実際に山に植えたときに育つのか？

山に植えた場合の生育状況を把握するため、県北の3か所に植栽試験地を設けて、調査を行いました。樹種により、試験地間での生育の差も見られたり、気象害や獣害などの成長を妨げる原因に傾向が見られるなど、参考となる知見が得られました。



A. 真庭市北部

B. 真庭市中部

C. 勝田郡勝央町

県北3か所の植栽試験地概況

樹種	A. 真庭市北部		B. 真庭市中部		C. 勝田郡勝央町	
	被害率 (%)	枯死率 (%)	被害率 (%)	枯死率 (%)	被害率 (%)	枯死率 (%)
コウヨウザン	65	0	25	10	5	10
センダン	0	5	5	0	-	-
ユリノキ	5	0	10	5	35	35
モミジバフウ	15	15	0	0	0	0
オニグルミ	0	0	24	0	10	5
ベカン	0	0	40	15	10	15
アベマキ	0	5	14	0	-	-
ホオノキ	5	0	15	10	0	11
クリ	5	15	10	20	6	0
コナラ	20	5	20	5	0	11
ヒノキ	33	0	10	29	0	0

注) C. 勝田郡勝央町では防護柵を設置している

各種被害の割合と枯死率（2成長期終了時点）

③苗木は確保できるのか？

苗木生産に必要な種子を効率的に入手するため、複数年にわたりシードトラップにより時期別の落下種子数等を調査しました。年による豊凶差が大きい樹種も見られました。

